

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネススポーツ推進事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成18年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ推進計画

【事業概要】

現状と課題	市民マラソンプームが到来するなど、スポーツ活動の参加機会を求める市民ニーズは高まりを見せている。また、東京オリンピックの開催など、見るスポーツへの関心も高まっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツイベント開催により、市民のスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	総合体育館を拠点としたトップアスリートによるスポーツ観戦イベント及びスポーツ教室の開催

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	2,844千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,844千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	030 ウェルネススポーツ推進事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	3,379千円	2,189千円	2,844千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>トップアスリートによるスポーツイベントの開催によって、競技スポーツの底辺拡大と振興を図り、市民のスポーツ・レクリエーション活動の参加機会を提供することのできる本事業は、施策の実現に不可欠である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネススポーツ推進事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
スポーツイベント開催数	回	2	2	2
スポーツ教室開催数	回	3	3	3
活動指標分析結果	事業開始以降、開催数を徐々に増やしており、トップアスリートによるスポーツイベントの開催都市として徐々に定着しつつある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
スポーツイベント来場者数	人	9,033	6,457	7,085	令和2年度	7,000
スポーツ教室参加者数	人	264	309	322	令和2年度	500
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	63.4	58.7	59.8	令和2年度	80
成果指標分析結果	来場者数等は年度によって多少の増減はあるものの、事業開始時より増加傾向にある。また、スポーツ・レクリエーションの活動機会には一定の市民満足度を得ている。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	ツデーマーチ事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成2年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	平成31年度加古川ツデーマーチ事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	本大会の参加者数は平成9年度にピーク（21,859人）を迎え、直近5年間では7千500人～8千500人で推移していたが、令和元年度のリニューアルにより40キロコースがなくなり減少。今後は市民がより気軽に参加できるウォーキングイベントとなるよう取り組む必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	1. イベント開催によるスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図るとともに、ウェルネスへの気付きの機会を提供する。2. 全国のウォーカーと地域住民等とのふれあいを通じて、にぎわいの創出や交流の拡大を目指す。3. 自然や歴史資源の再発見により市民のふるさと意識の醸成を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	2日間に渡り市内を歩くウォーキングイベントである「加古川ツデーマーチ」を企画・運営する加古川ツデーマーチ実行委員会に対して補助金を交付する。

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	11,000 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	11,000 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	005 ツデーマーチ事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	11,500 千円	11,000 千円	11,000 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和元年度第30回大会で内容・テーマをリニューアルし、歩くだけでない体験型イベントとして実施。これまでの、ウォーキングによる市民の健康増進や交流の拡大・まちなにぎわい・自然とのふれあい等に加え、コース上での体験型イベントに参加することで心と体のウェルネスを感じることができ、「ウェルネス都市」を体感できるイベントとして実施する意義は大きい。また、観光資源の有効活用、市民のふるさと意識の醸成を図る手段としても、当該事業の効果は大きく、補助金交付を継続していくべきと考える。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	ツォーデーマーチ事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	人	8,366	8,398	6,871
実行委員会収支予算額	千円	27,260	26,900	25,800
活動指標分析結果	参加者数は、平成9年度をピークに減少しているものの、平成30年度までの直近5年間では一定の水準を維持していた。令和元年度(第30回)からは、リニューアルとして40キロコースがなくなったため、参加者数は減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
市内在住の申込者数	人	3,320	3,472	2,815	令和2年度	5,000
市外在住の申込者数	人	2,206	2,422	2,188	令和2年度	3,200
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	63.4	58.7	59.8	令和2年度	80
成果指標分析結果	当日の天候によって影響を受けやすい。参加者は市内・市外の比率はほぼ一定である。満足度との相関関係は不詳。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	レガッタ普及事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成9年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ推進計画、平成31年度レガッタ普及事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	直近3年の市民レガッタ出場チーム数は、140チーム前後で推移。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民レガッタ、関西学生秋季選手権、小学生ボート体験教室の開催、また、クルーの目標となる全国市町村交流レガッタ大会への出場機会を作ることにより、ボート競技の普及及びスポーツの振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	レガッタ大会や体験教室を開催し、ボート競技を通じて青少年の育成を考え、加古川流域のまちの活性化を図る加古川市レガッタ事業実行委員会に対して補助金を交付する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	3,134千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,134千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	055 レガッタ普及事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	9,803千円	7,774千円	3,134千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和元年度より、レガッタ普及に関する事業を漕艇センター指定管理者の業務として事務局機能を漕艇センターに移し、市の委託事業から補助事業へ変更した。その効果については未だ結果が十分に出ていないため、今後更なる改善が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	レガッタ普及事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全国ボート場所在市町村協議会収支予算	円	7,010,000	6,540,000	6,620,000
レガッタ普及事業委託料	円	6,666,000	7,287,000	0
レガッタ普及事業補助金	円	0	0	2,600,000
活動指標分析結果	交流レガッタは協議会加盟市町村の持ち回りで開催しており、開催地や大会内容によって予算が大きく異なるため、計画値・目標値の設定は馴染まない。また参加チームは、加盟市町村から一定数が出場するため、大幅な増減はない。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
加古川市民レガッタ大会参加者数	人	927	768	859	令和2年度	1,000
漕艇センター利用者数	人	22,628	18,262	20,040	令和2年度	20,000
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	63.4	58.7	59.8	令和2年度	80
成果指標分析結果	参加者・利用者数は多少増減があるものの、一定の水準を維持しており妥当なものと考えられる。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	加古川マラソン大会補助事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成1年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ推進計画、平成31年度加古川マラソン大会事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	15回大会（15年度）に、加古川みなもロードの創設にあわせ初のフルマラソンを実施。以降、現在までフルマラソンを継続実施。近年のブームで大阪・神戸などの大都市で相次いでフルマラソン大会が誕生するなかでも、申込者は6,000名以上となる状況。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	陸上競技の底辺拡大およびスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民参加型のフルマラソンイベント「加古川マラソン大会」を企画・運営する加古川マラソン大会実行委員会に対して、補助金を交付する。

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	3,000千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,000千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	025 社会体育補助事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	1,200千円	1,200千円	3,000千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及・促進を図る手段として当該事業の意義は大きい。今後は、市の一大イベントとして多くの市民参加・参画に向けた仕組み作りを検討する必要がある。

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	加古川マラソン大会補助事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
申込者数	人	6,479	6,290	6,120
実行委員会収支予算額	千円	45,836	48,400	53,900
活動指標分析結果	大会の定員6,500名を少し割り込んでいる。実行委員会収支予算額は、市補助金及び協賛金収入の増減によって多少の増減はあるが、一定の水準で推移。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
市内在住の申込者数	人	1,097	1,016	924	令和2年度	1,000
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	63.4	58.7	59.8	令和2年度	80
成果指標分析結果	過去5年間の市内申込者の割合は15%～18%前後であるが、減少傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	体育、レクリエーション指導振興事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ推進審議会条例、加古川市スポーツ推進委員規則

【事業概要】

現状と課題	平成30年3月に、今後10年間のスポーツ施策の指針となる「加古川市スポーツ推進計画」を策定した。計画の進捗管理を行い、市民ニーズに合わせてスポーツ環境の充実を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民スポーツの企画立案及び生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及、促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	スポーツ推進審議会、日ごろ運動・スポーツをする機会が少ない市民、スポーツ推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	スポーツ推進審議会によるスポーツ推進計画の進捗管理。スポーツライフセミナーによる、日ごろ運動・スポーツをする機会が少ない世代の市民に対するスポーツ啓発。教育委員会が委嘱したスポーツ推進委員の活動に対する報酬の支払い及び活動の補助。

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	2,963 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,963 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	04 体育振興費
細目	005 体育、レクリエーション指導振興事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	6,886 千円	2,949 千円	2,963 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	スポーツ推進審議会においては、「加古川市スポーツ推進計画」の施策の進捗確認を引き続き行う。また、スポーツ推進委員会では、スポーツ実施率の向上に寄与する活動を進めるとともに、障がい者スポーツの普及を行い、幅広い対象者が参加できる内容を検討する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	体育、レクリエーション指導振興事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
20歳以上の人口(4/1付住民基本台帳人口)	人	0	0	216,702
スポーツ推進審議会	団体	1	1	1
スポーツ推進委員数	人	48	48	48

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
スポーツライフセミナー開催数	回	9	10	10
スポーツ推進審議会開催数	回	4	2	1
スポーツ推進委員活動回数(延べ数)	回	265	266	279
活動指標分析結果	今年度スポーツライフセミナーは10回全て開催することができた。また、スポーツ推進審議会においては、開催回数が減少したが、スポーツ推進計画における進捗管理等の必要事項について審議を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
週1回以上運動・スポーツを行う人の割合	%	48.2	48.2	48.2	令和5年度	65
スポーツ推進審議会委員出席率	%	65	70	70	令和2年度	100
スポーツ推進委員の対市民指導者数	人	601	1,199	1,614	令和2年度	1,000
成果指標分析結果	スポーツ推進委員の対市民指導者数は、昨年度に引き続き、市内小中学校を中心にシッティングバレーボールなど障がい者スポーツの体験事業や市民に指導する機会が増加した。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	体育協会事業補助金交付事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市補助金等交付規則、加古川市体育協会事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	加古川市体育協会は創立70年を超える歴史があり、27の種目協会が、各種目の市民への紹介、また各競技における選手の育成に寄与している。また、市民ニーズの多様化により協会にないスポーツの対応や、高齢化による運営的な問題を抱える種目協会が増えている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市のスポーツの競技団体を統括する加古川市体育協会を通じて、スポーツの普及や競技スポーツの強化、スポーツ振興を図るため、協会への補助を行う。
対象 ※誰、何に対して	加古川市体育協会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市体育協会の行う事業のうち、27の種目協会が行う市民大会等の支援事業、体育功労者及び優秀選手、優秀チームの顕彰、健康・体力づくり事業、国体出場者激励会に対して補助を行う。

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	1,786 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,786 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	04 体育振興費
細目	010 社会体育補助事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	1,755 千円	1,888 千円	1,786 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民のスポーツ実施率向上に向け、各種目協会が創意工夫を凝らして市民が参加しやすい事業を実施しており、本補助金は有効に使われていると判断している。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	体育協会事業補助金交付事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市体育協会	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
健康・体力づくり事業 実施割合	%	67.8	67.8	62.9
活動指標 分析結果	市民がスポーツに慣れ親しむ場を提供する『健康・体力づくり事業』を各種目協会が企画し実施しているが、実施している17種目協会について令和元年度は、種目協会で全27種目協会の半数以上に達している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
健康・体力づくり参加 人数(一般市民)	人	1,366	1,756	1,508	令和2年 度	1,650
成果指標 分析結果	健康・体力づくり事業への一般市民の参加者を増加させる対策を、体育協会及び各種目協会が創意工夫を行い、市民がスポーツに慣れ親しむ場を拡大していく必要がある。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	障がい者スポーツ推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成30年度～永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	共生ホストタウンに認定されていることから東京オリンピック・パラリンピック競技大会のビジョンの一つである「多様性と調和」を見据え、スポーツを通じた共生社会の構築が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	障がい者スポーツの理解と障害の有無にかかわらずスポーツに親しめる環境づくりをめざす。
対象 ※誰、何に対して	障害の有無にかかわらずスポーツに興味がある市民、スポーツ推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	スポーツに親しむ機会の提供

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	59千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	59千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	04 体育振興費
細目	025 障がい者スポーツ推進事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	0千円	791千円	59千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	障がい者スポーツの認知度を高めるためには、実施機会の増加を図るとともに、継続したスポーツとなるよう関係部局や団体等と連携し、ニーズに応じた事業の実施が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	障がい者スポーツ推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
20歳以上の人口(4/1付住民基本台帳人口)	人	0	216,843	216,702

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
障がい者スポーツイベント回数	回	0	6	6
スポーツ推進委員における障がい者スポーツ活動者数	人	0	45	67
活動指標分析結果	平成30年3月に策定した「スポーツ推進計画」に基づき障がい者スポーツの理解と普及にかかる取組を関係部署と年次計画を調整し、効果的な事業実施に努める。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
障がい者スポーツイベントの参加者数	人数	0	250	564	令和8年度	600
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	0	58.7	59.8	令和8年度	70
成果指標分析結果	障がい者スポーツのニーズを把握するため意見調査をするとともに、スポーツイベントのPR方法など、関係部署との連携体系を構築をする必要がある。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	ウェルネスパーク管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成9年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川ウェルネスパークの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	総合的な生活環境の創造、向上を図り、もって健康で文化的な市民生活を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	健康増進施設、音楽ホール及び図書館などの施設の利用を通じて積極的な健康づくりを支援する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	332,524千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	118千円
	一般財源	332,406千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	306,909千円	306,767千円	332,524千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネスパーク管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	43,082	40,335	33,713
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	3月の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自主事業実施回数が減少し、入場者数も減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	564,799	557,598	379,595	令和2年度	476,400
成果指標分析結果	3月の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設利用人数が減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	ウォーキングセンター等管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成9年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市ウォーキングセンターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	健康意識の高まりによりウォーカーの人口が増加傾向にあるなか、ウォーキングコースに隣接し、自然豊かな環境に位置する本施設を利用する方は多い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	自然とのふれあいを通じて自然への関心と理解を深め、自然環境の保全と歴史や文化に関する学習の促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設を適正に維持管理するとともに、施設を通じて身近な地域を散策し、自然への関心と理解を深める。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		6,262千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	6,262千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	060 ウォーキングセンター等管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	5,885千円	6,278千円	6,262千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設利用者の満足度は高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	ウォーキングセンター等管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	4,000	9	4,312
モニタリングの回数	回	2	2	2
活動指標分析結果	展示関係の事業について想定より多くの入場者があったため。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	4,575	3,506	4,008	令和2年度	4,900
成果指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	スポーツ交流館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成13年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川スポーツ交流館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われているが、住民の健康志向の高まりを受け、施設の利用は順調に推移している。今後市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。また、令和元年度より指定管理者が交代した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健康づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。健康増進施設の利用を通じて積極的な健康づくりを支援する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	59,812千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	26千円
	一般財源	59,786千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	73,725千円	74,628千円	59,812千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	スポーツ交流館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	1,289	2,190	66,811
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	令和元年度より、指定管理者が変更となり自主事業内容についても大きく変更となった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
施設利用者数	人	148,131	148,234	133,202	令和2年度	155,600
成果指標分析結果	近隣に24時間営業のスポーツジムがオープンしたことや、新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者数は減少となった。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	海洋文化センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成12年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川海洋文化センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	現在は、指定管理者制度に基づき、民間事業者により管理運営が行われているが、子供連れの家族を中心に施設を利用する者は多い。今後も市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。また、令和元年度より指定管理者が交代した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域の人々の交流を促進する複合文化施設の役割を果たす。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の適正な管理運営を行うとともに海洋文化に関する知識の普及を図る。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	82,780千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	82,780千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	77,794千円	77,794千円	82,780千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く満足度も高いため、引き続き施設の運営を図っていく。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	海洋文化センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	17,461	18,733	1,652
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	令和元年度より、指定管理者が変更となり自主事業内容についても変更となった。 また、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり入場者数は減少となった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
施設利用者数	人	211,676	196,299	166,165	令和2年度	235,700
成果指標分析結果	館内空調機器大規模修繕による休館や、新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者数は減少となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	志方体育館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立志方体育館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われており、周辺地域の住民を中心に多くの利用がある。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	5,573千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	73千円
	一般財源	5,500千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	5,937千円	5,910千円	5,573千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	志方体育館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	2,088	2,319	1,976
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	27,845	25,666	27,202	令和2年度	29,100
成果指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	志方東公園テニスコート管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われているが、今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	3,685千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,685千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	3,214千円	3,214千円	3,685千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 利用者の満足度も高く引き続き施設の運営を継続する必要がある。

事務事業名	志方東公園テニスコート管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	673	762	943
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	6,112	6,446	7,288	令和2年度	6,800
成果指標分析結果	天候に恵まれ、雨天閉鎖時間が減少したこと等により、利用者数が増加している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	漕艇センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成7年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	現在は、指定管理者制度に基づく管理運営が行われている。市内の学校利用も盛んに行われており、市内外から多くの利用実績をあげている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	漕艇活動の振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	35,986千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	10千円
	一般財源	35,976千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	26,613千円	26,613千円	35,986千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	漕艇センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	1,253	1,508	1,102
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	10月実施予定のオータムカップが台風の影響により中止、3月実施予定の漕艇センター春祭りが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったため、自主事業の入場者数が減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	22,628	18,262	20,040	令和2年度	23,500
成果指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園グラウンド管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成18年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。施設の利用は、主に各種目団体を中心に非常に高い利用率で稼働している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		4,085千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	16千円
	一般財源	4,069千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	2,777千円	2,777千円	4,085千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園グラウンド管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	2,580	2,777	2,158
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	11月～12月の利用を休止し、人工芝張替え修繕を実施したこと、また、3月には新型コロナウイルス感染症拡大の影響により自主事業での入場者数も減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	60,917	57,587	50,712	令和2年度	63,500
成果指標分析結果	11月～12月の人工芝張替え修繕に伴う利用休止、3月には新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設利用者数が減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園第2テニスコート管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われており、概ね順調に管理運営がなされている。また、近隣市町村では珍しいアンツーカコートを有している。一方で、冬季には霜の影響で、休場日が多い傾向があり、施設の維持管理に難しい課題がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図ると共に、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民および利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	2,160 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	11 千円
	一般財源	2,149 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	670 千円	670 千円	2,160 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園第2テニスコート管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	856	156	760
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	第1四半期（4～6月）の最初の集客がうまくいかなかったことが影響した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	6,137	6,078	6,949	令和2年度	7,300
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響により学校部活動が中止となったことが影響した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園野球場管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和58年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	施設の利用は、種目協会を中心に高い利用率を維持できている。なお、平成24年9月の野口野球場の閉鎖に伴い、硬式野球での利用の要望が高まっているが、ファウルボールが近隣の住宅に飛び込むため、硬式の試合は禁止している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	19,274千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	238千円
	一般財源	19,036千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	16,732千円	16,365千円	19,274千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園野球場管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	31	125	0
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	3月実施予定であったヘキサスロン（6種目の運動プログラム）が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったため、自主事業は行っていない。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	15,874	14,839	14,611	令和2年度	16,700
成果指標分析結果	3月の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による大会中止により、施設利用者数が減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山体育館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和53年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立日岡山体育館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	58,080千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	215千円
	一般財源	57,865千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	59,542千円	59,542千円	58,080千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山体育館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	12,261	12,827	12,086
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	3月の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自主事業実施回数が減少し、入場者数も減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	126,829	126,396	123,983	令和2年度	133,800
成果指標分析結果	3月の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設利用者数が減少している。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	浜の宮市民プール管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成26年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市民プールの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度への移行に伴い、現在は民間事業者による管理運営が行われている。施設の利用は順調に推移しているが、老朽化が進んでおり、適宜、設備改修を行っている。また、プール事故への適正な対応が行えるよう、指定管理者には万全な管理運営を求めている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健康づくり及びレクリエーションの振興に寄与する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	9,882千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	9,882千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	6,647千円	6,647千円	9,882千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	浜の宮市民プール管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	559	444	273
モニタリングの回数	回	2	2	2
活動指標分析結果	令和元年度より、指定管理者が変更となり自主事業内容についても大きく変更となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	61,597	54,151	60,590	令和2年度	63,500
成果指標分析結果	前年より開場日が増えたことにより、利用者数は増加となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	武道館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成3年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立武道館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	武道の振興を支援するとともに、心身の健全な発達と体力の増進を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。武道館の利用を通じて、武道の振興を支援する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	17,181千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	17千円
	一般財源	17,164千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	8,177千円	8,177千円	17,181千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	武道館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者自主事業入場者数	人	3,986	3,912	3,474
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	7月の武道館床張り替え修繕、3月の新型コロナウイルス感染拡大の影響による大会中止により、施設利用者数が減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	41,385	40,055	48,395	令和2年度	42,900
成果指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	旧平荘湖アクア交流館解体撤去事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	令和元年度～
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	閉館した旧アクア交流館の建物等が残存している。 建物には、未発掘の遺跡や埋没杭があり、解体に困難・高額となる可能性がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	閉館した施設を解体し、管理が必要な公共施設面積を削減する。
対象 ※誰、何に対して	旧アクア交流館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	閉館した旧アクア交流館を解体するための工事等。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	042 旧平荘湖アクア交流館解体撤去事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の解体が完了するまで、事業を継続する必要がある。 解体に困難を期する場合は、一部現存させ、活用することも検討する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	旧平荘湖アクア交流館解体撤去 事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
維持管理すべき施設数	棟	0	0	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施設整備件数	箇所	0	0	0
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設整備済件数	箇所	0	0	0	令和2年 度	1
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	いずみプラザ運営管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成26年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	いずみプラザは、市内で唯一の天然芝専用グラウンド・ゴルフ場を有し、キッズルームを利用した保護者の評判も好評である。施設全体の利用者数は、市ホームページ等でのPR、ロコミなどにより増加しているが、グラウンド・ゴルフ場の利用に関しては、天候に左右される傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	高齢者の健康増進、安心して子育てできる環境の整備及び市民相互の交流の促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	グラウンド・ゴルフ場：単独からグループで利用する市民 研修室：講座や親睦会、学習会などに利用する市民 キッズプラザ：0歳から就学前までの子どもと保護者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	グラウンド・ゴルフ場、研修室、キッズルーム、芝生広場等を提供する。

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	10,318千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,539千円
	一般財源	8,779千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	050 いずみプラザ運営管理事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	9,407千円	9,428千円	10,318千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	高齢者の健康増進、子育て中の市民相互の交流の促進を図る意義がある施設であることから事業継続の必要性がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	いずみプラザ運営管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	263,000

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施設利用者数	人	7,594	5,740	5,197
活動指標分析結果	施設利用者数が、対前年度比で543人減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	7,594	5,740	5,197	令和2年度	8,000
成果指標分析結果	研修室利用者は515人増加した。また、グラウンド・ゴルフ場は268人増加した。一方キッズルームは、2月の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、1326人減少した。したがって全体では543人減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	すばーく加古川管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成21年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	尾上地区
関連根拠法令等	加古川市立屋内ゲートボール場の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

【事業概要】

現状と課題	尾上公民館が行っていた管理運営を平成27年度から社会教育・スポーツ振興課で担っている。年間250件程度の利用があるが、利用率が低いことから利用用途の拡大を検討する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	屋内ゲートボール場すばーく加古川の維持管理及び施設の保守を適正に行うことにより、利用者の安全性、快適性を維持する。
対象 ※誰、何に対して	屋内ゲートボール場「すばーく加古川」
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	屋内ゲートボール場すばーく加古川の維持管理及び施設の保守を図る。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	1,845千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	568千円
	一般財源	1,277千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	05 体育施設費
細目	005 体育施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	1,106千円	1,019千円	1,845千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>すばーく加古川はゲートボールの拠点施設として市民に利用されているが、ゲートボールの競技人口の減少にともない、利用率も年々下がっている。今後、すばーく加古川の施設利用の範囲については、利用拡大に向けた見直しが必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	すぱーく加古川管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(4/1付住民基本台帳人口)	人	267,724	266,154	264,847

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館日数	日	308	310	302
施設利用率	%	31.5	29	27.8
活動指標分析結果	予定通りの開館日数となった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
施設利用人数(実績)	人	10,192	9,030	8,457	令和2年度	10,000
成果指標分析結果	令和元年度は、前年度と比較して利用人数、利用率ともに減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	総合体育館改修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	令和元年度～令和元年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	市内には障がい者スポーツの拠点となる場所がない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、幅広い世代が安全かつ快適にスポーツに親しめる施設として活用するため。
対象 ※誰、何に対して	総合体育館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	総合体育館コミュニティアリーナの床の改修工事

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	32,890千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	29,600千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,290千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	05 体育施設費
細目	010 スポーツ施設整備事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	32,890千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 改修工事が完了した。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	総合体育館改修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
改修すべき面積	m ²	0	0	1,200

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施工回数	回数	0	0	1
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
施工率	%	0	0	100		0
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	野外活動センター管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	少年自然の家

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和48年度～永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立野外活動センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	開設後、年次的拡張整備を行うとともに、市民の生涯学習の場として平成5年度に宿泊館、平成6年度に工作館が竣工した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	自然とのふれあいを通して子ども達の健全育成を図るとともに、市民の生涯学習を推進する。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	青少年の野外活動の場の提供、家族・小グループの憩いふれあいの場の提供、木工工作の場の提供を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	3,915千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	999千円
	一般財源	2,916千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	06 野外活動センター費
細目	005 野外活動センター運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	3,991千円	4,057千円	3,915千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>子ども達を心身共に健全に育むためには、自然とのふれあいや野外活動体験は不可欠であり、市民に生涯学習の場を提供するためにも野外活動センターの運営は今後も引き続き継続していく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	野外活動センター管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	少年自然の家

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4才から70才までの市民	人	214,500	212,141	208,693

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
野外活動センター開所日数	日	303	305	305
活動指標分析結果	夏休み期間は祝日も開所するなどを無休にし、利用団体の利便性を図っている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
野外活動センターの利用者数(実人員)	人	11,885	9,801	10,914	令和2年度	4,000
野外活動センターの利用団体数(実件数)	件	1,472	1,334	1,223	令和2年度	700
成果指標分析結果	令和2年当初から新型コロナウイルス感染症関係により大きな影響を受け、3月には事業も中止になった。					